児童発達支援

事業所における自己評価結果（公表）

参考様式3

公表：令和　6年　3月　19日

事業所名　児童デイサービス　あいうえお

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			AM・PMに分けて運営している為、ワンフロアに対する児童数を調整することができている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準は守れている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○		昨年度と比すると、視覚支援の幅が拡がった。	・完全なバリアフリーとは言えない。 ・視覚支援の幅はもっと拡げられると思う。 ・事業所内の構造上、個のスペースの確保に困難さを感じる。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			AMの児童が帰宅後に次亜塩素酸を使用した消毒作業と、一日の運営終了後に室内や玩具、送迎車内の消毒作業を実施している。	ワンフロアである為、児童の状態に合わせた空間の提供が難しい。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○				
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				保護者会や参観を希望する声が例年挙がるが、会社としても事業所としてもなかなか話に進展がないのが現状。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○			年1回むぎのこより地域支援マネージャーさんが来所して助言を頂くが、なかなか実践できていないこともある。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				外部のみならず内部研修も充実化してほしい。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			保護者との面談以外にも、ミーティングで意見交換を行いながら様々な観点から分析を行っている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○			視覚支援が有効な児童に視覚支援カードを作成して日々提示をしているが、全児童に対するアセスメントツールを用意・実践することはできていない。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				土曜以外は活動担当者を設定して個々人の調整に委ねている。

	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○				現在は集団活動がメインとなっているが、より児童の特性に合わせた個別での活動を検討していく余地はある。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日朝礼・終礼を行い、その日の流れの確認と一日の振り返りを行っている。それらを細かにノートに記し、当日居ないスタッフも分かるように記録している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日朝礼・終礼を行い、その日の流れの確認と一日の振り返りを行っている。それらを細かにノートに記し、当日居ないスタッフも分かるように記録している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○				
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	－	－	－		
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	－	－	－		
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		園側から相談があったり、事業所側で直接的な共有が必要と判断した際には、連絡を取り合っている。	入園を控えている保護者様とは送迎時に話すことが主となっており、ご要望があった方のみ面談を実施している(電話面談を含む)。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○			
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			昨年みかほ整肢園での研修に参加。	むぎのこより地域支援マネージャーさんが来所して助言を頂くが、年1回と限定的な来所でもあり、定期的に助言等を頂くことは難しい。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		

	㉙	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ど も・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○		
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				保護者様とは送迎時に話すことが多いが、短時間での会話の中で双方に理解を深め合うことは難しい。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）の支援を行っているか	○				
保護者への説明責任等	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行 っているか	○			半年に1回のモニタリング面談は必ず行い、状況により助言をさせて頂いている。	訓練士や心理士が不在の為、より専門的な質問にその場でお答えすることが難しいこともあり、もどかしさを感じることがある。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		子育てに対し孤独を感じている保護者様が複数いらっしゃる。コロナが5類となった為、最大限の感染対策を講じた上で保護者様同士の交流の場を設けたい。
	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月おたよりを発行し、土曜の活動内容等の発信を行っている。また、ブログも毎週土曜に更新している。	
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				
	㊴	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		
非常時等の対応	㊶	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○				
	㊷	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				避難訓練は実施しているが、救出訓練は実施できていない。より具体的な訓練方法を学び、実践に繋げる必要がある。
	㊸	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○				

㊹	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○				
㊺	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				
㊻	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎月ミーティング内で虐待研修を実施。国内で発生している痛ましい事件を知り、各自支援を振り返る機会としている	
㊼	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○			

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

参考様式4

公表：令和　6年　3月　19日

事業所名　児童デイサービス　あいうえお　　保護者等数（児童数）　26　　回収数　22　割合　84　%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	2				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	19	1		2		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19	2		1	動画や参観等で、普段の様子を見られる仕組みがあると嬉しい。	通所施設としての構造化について、現在会社と調整を進めています。ご利用者様にとってより過ごしやすい環境を作ることができるよう、今後も検討・実践して参ります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21	1				
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	22					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	22					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	21	1				
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	21	1			いつも楽しそうな活動内容で、ブログや連絡帳を見るのが楽しみ。	全ての活動に意図をもって計画をしています。今後もご利用者様が楽しみながら、成長を後押しできる活動を実施したいと考えます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	2	2	13		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	1				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	21	1				
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	20	1		1	悩んだ時に話を聞いてもらい、学ばせてもらっている。	支援者も保護者様から様々なお話を伺い、ともに学ばせて頂いています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができているか	21	1			メッセージのやり取りでも丁寧な返信があり、ありがたい。	保護者様からメッセージにてお子様に関する情報共有を頂くこともあり、我々もありがたく感じています。

	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	1			・スタッフが保護者にも優しく親切で相談しやすい。	保護者様の声を傾聴することも、支援者としてとても大切な役目であると考えます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	9	9	・今後も特に希望しない。 ・今後実施したいと考えているそう。	保護者様同士の交流については、必要としている方同士で集える場を作れるよう検討したいと考えます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22				大変感謝している。	今後も何かありましたら遠慮なくお声がけ頂けますと幸いです。。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	1			・メッセージよりLINEでやり取りができるとありがたい。	会社に打診してみたいと思います。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	20	1		1		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	21			1		
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	17	2		3		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	2		5	子どもが帰宅後に自宅で復習していた。	今後も活動の一環で避難訓練を取り入れながら、より伝わりやすい内容のものを検討・実施していきます。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	22				・あいうえおを選んで良かった。 ・いつもありがとうございます。	当所がお子様にとって、楽しく安心できる場であれるよう、今後も寄り添った対応を心がけて参ります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	20	2			・好きなものの印刷や制作はありがたいが、自宅でなかなか処分できず管理方法に悩む。	所内での印刷物のルール等、改めてスタッフ間で検討していきます。

◎　この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等
デイサービス

事業所における自己評価結果（公表）

参考様式3

公表：令和　6年　3月　19日

事業所名　児童デイサービス　あいうえお

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準は守れている。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			児童が主に過ごす空間やトイレは段差が少ないが、玄関やベビーゲートの段差は現状として今すぐの解消は難しい。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○				
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者との面談以外にも、ミーティングで意見交換を行いながら様々な観点から分析を行っている。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				個々に割り振られている為、自由な立案ができて良い。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				前運営日の活動内容を確認するなど、固定化しないように各自工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日朝礼・終礼を行い、その日の流れの確認と一日の振り返りを行っている。それらを細かにノートに記し、当日居ないスタッフも分かるように記録している。	細かな役割分担とまではいかないが、その日の活動内容等、必要事項の共通理解に努めている。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日朝礼・終礼を行い、その日の流れの確認と一日の振り返りを行っている。それらを細かにノートに記し、当日居ないスタッフも分かるように記録している。	その日の振り返りを行い、必要事項の共通理解に努めているが、業務の都合上実施できない日も稀にある。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				ミーティングなども活用し、定期的にモニタリングを実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○				希望利用表等を用いて迎え時間や場所の確認は行っているが、学校との直接的なやり取りはなく、保護者を介すことを基本としている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	－	－	－		
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	－	－	－		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		昨年みかほ整肢園での研修に参加。	むぎのこより地域支援マネージャーさんが来所して助言を頂くが、年1回と限定的な来所でもあり、定期的に助言等を頂くことは難しい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				

保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				送迎時や面談を通じ、保護者様から細かくお話を頂きながら必要に応じて助言を行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		コロナが5類となった為、最大限の感染対策を講じた上で保護者様同士の交流の場を設けたい。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月おたよりを発行し、土曜の活動内容等の発信を行っている。また、ブログも毎週土曜に更新している。	
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○				
	㊱	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				避難訓練は実施しているが、救出訓練は実施できていない。より具体的な訓練方法を学び、実践に繋げる必要がある。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎月ミーティング内で虐待研修を実施。国内で発生している痛ましい事件を知り、各自支援を振り返る機会としている。	
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○			契約時に身体拘束の説明を行っている。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				食物アレルギーを持つ放デイ児童なし。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等
デイサービス

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

参考様式4

公表：令和　6年　3月　19日

事業所名　児童デイサービス　あいうえお　　保護者等数（児童数）　2　　回収数　1　　割合　50　%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	1					
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	1					
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	1					
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	1					
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		1				
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1					
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	1					
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1					
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか				1		
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	1					
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1					
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	1					
	⑭	個人情報に十分注意しているか	1					

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか				1		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1					
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	1					
	⑱	事業所の支援に満足しているか	1					

◎　この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。